

# 第59回日本臨床細胞学会総会春期大会

癌の早期診断の  
手法としての  
細胞診と新技術の融合

会期 平成30年6月1日▶3日  
会場 ニトリ文化ホール, ホテル札幌芸文館  
ロイトン札幌

第59回日本臨床細胞学会総会(札幌)に病理部より5名が参加をしました。発表は、それぞれの部員が日ごろから行っている検討や活動などを発表してきました。



## 発表内容

### ●内藤嘉紀 先生

- ・ 消化器：痔迅速細胞診における適正な検体処理に向けての基礎的検討

### ●河原明彦 副技師長

- ・ 第5回子宮の日全国アクション 2018報告会
- ・ ランチョンセミナー1：PD-L1検査 精度管理向上のためのポイント  
-固定・切り出しから染色・診断-まで
- ・ 教育講演1：唾液腺の細胞診
- ・ 教育シンポジウム：呼吸器領域の細胞診におけるMolecular Cytology

### ●山口知彦 主任

- ・ シンポジウム：子宮内膜細胞診の有用性 細胞診の限界と組織診との連関」

### ●安倍秀幸 主任

- ・ ワークショップ：呼吸器細胞診における液状化検体細胞診の展望  
呼吸器領域におけるLBC検体の免疫細胞化学と実際
- ・ LBC法を用いた検体種別診断セミナー -細胞診に親和性の高い  
Whole Slide Imageを用いて- 呼吸器領域